

1 科目名(教科)	数学A	6 教科書名	
2 講座名	数学A(数学)	新編 数学A(数研出版)	
3 開講学年	1	7 使用教材	
4 履修区分	必修	3 TRIAL 数学I+A(数研出版)	
5 単位数	2		

1 科目の目標・学習内容

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 評価の観点・方法

評価の観点		観点の趣旨	具体的な評価方法
【知】	知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	授業への取り組み/定期考査/単元テスト/レポート 他
【思】	思考・判断・表現	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	授業への取り組み/定期考査/単元テスト/レポート 他
【態】	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	授業への取り組み/定期考査/単元テスト/レポート 他

3 学習計画

月	単元名	学習内容	時間	到達目標	観点別	評価方法
4	第1章 場合の数と確率	第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数(2) 2. 場合の数(4)	4	場合の数を求めるとき基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
5		3. 順列(4) 4. 組合せ(4)	8		【思】 【態】	
6		第2節 確率 5. 事象と確率(3) 6. 確率の基本的性質(4.5)	8	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
7		7. 独立な試行と確率(4.5) 8. 条件付き確率(4)	8		【思】	
8		9. 期待値(2)			【態】	

9	第2章 図形の性質	第1節 平面図形 1. 三角形の辺の比 (2) 2. 三角形の外心・内心・重心 (2) 3. チェバの定理・メネラウスの定理 (3)	8	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート	
10		4. 円に内接する四角形 (2) 5. 円と直線 (4) 6. 2つの円 (2) 7. 作図 (3)	8		【知】 【思】 【態】		授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
11		第2節 空間図形 8. 直線と平面 (3) 9. 空間図形と多面体 (3)	8		【知】 【思】 【態】		
12	第3章 数学と人間の活動	1. 約数と倍数 (2) 2. 素数と素因数分解 (3) 3. 最大公約数・最小公倍数 (3)	8	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。	【知】 【思】 【態】	授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート	
1		4. 整数の割り算 (3) 5. ユークリッドの互除法 (3) 6. 1次不定方程式 (3)	6		【知】 【思】 【態】		授業の取り組み 定期考査 単元テスト 小テスト レポート
2		7. 記数法 (2) 8. 座標の考え方 (2) 9. ゲーム・パズルの中の数学 (3)	4		【知】 【思】 【態】		

#### 4 単元テスト

期末考査の他に、年4回(6月・8月・11月・1月)の単元テストを予定しています。テストは記述形式で、結果は各単元の【知識・技能】  
【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の観点の評価に含めます。実施日や範囲等の詳細は授業内で指示します。

#### 5 その他

提出物や授業態度等も【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の観点の評価に含めます。